

平成23年度「比良山系山岳パトロール実施報告書」

作成日： H23年 5月14日

パトロール実施日	平成23年 5月 3日 (火) 天候 くもり
山岳会名 (団体名)	東レ滋賀山岳部
参加人員 代表者名・人数	1名
実施コース (コースタイム) ・コース名に○印 ・具体的なコース (積雪状況等を含む)	(実施ルートを詳細に記載して下さい。) ・ A ・ B ・ C ・ D ・ E その他 イン谷口→堂満東稜道→堂満岳→金糞峠→コヤマノ岳冬道→コヤマノ岳→武奈ヶ岳→イブルキノコバ→八雲原→カラ岳→釈迦岳→旧リフト終点→イン谷口 山頂周辺と沢筋、およびコヤマノ岳北面 (イブルキノコバコース) には残雪あり
(※) 登山届投函箱の 状況	(修繕等が必要なもの、筆記用具・記入用紙の状況、錠前の状況など記載して下さい。) ・ OK ・ イン谷口指導所の投函箱は満杯。 指導所上の橋の所の投函箱は利用が少ない。
(※) 道標の状況	(破損しているもの、比良ロープウェイ・リフト等の名称が表記されており、修繕等が必要なものを記載して下さい。) 1. 武奈ヶ岳南峰 比良リフト最終時刻が書かれている 2. 釈迦岳山頂<破損> カラ岳方面を表示した板が行方不明 3. 釈迦岳旧リフト終点上の巻き道との分岐点 比良ロッジを表記
(※) レスキューポイ ントの状況	(表示板が破損していたり、取れかかっている箇所があったりすれば・場所名 ・標識No等を記載して下さい。 携帯電話の通信状態のチェック・メーカー・機種別を記載して下さい。) 問題なし
(※) コースの状況	(橋の破損、通行止めの表示やロープの老朽化等の箇所があれば記載して下さい。) 1. 奥深谷：冬道に入る橋には枝が積っていた。 2. 武奈ヶ岳南峰直下 (コヤマノ岳との間の溝道)：融雪とともに道内の岩が転がり落ちそうになっていて危険。 また、道脇の灌木が倒れこんでいて歩き難くなっている。
(※) その他	(コースがわかりにくく新たに道標が必要と思われる箇所、その他危険なため、何らかの対策が必要と思われる箇所等があれば記載して下さい。) 奥深谷：冬道に入る箇所には誰かが案内板を取り付けていたが、なくなっていた。危険な道ではないとはいえ、道迷いを防ぐためにも、このまま無表示しておくべきと思われる。
単 独 登 山 者 に 付いて	(・年齢・男女の区分・登山コース・その他 等を記載して下さい) 多数： 正面谷コース、八淵コース、西南稜 かくいう私も単独
登 山 者 へ の 指 導 等	(登山者の様子&状況、登山者への指導等をされた場合はその概要を記載して下さい。) なし

(※) 印：この報告書に記載されたコースの状況等で必要なものについては、比良山系登山情報のホームページに掲載しますので、速やかに報告して下さい。

・道標の新設・修繕やレスキューポイント表紙板の破損、危険箇所等については、地図上にその箇所を示すと共に、現状の写真を添付して下さい。